

3 3 農業生産基盤の保全・整備面積 26年度

農業に利用されている農地面積 70,300 ha

- 生産性の高い農業経営の実現、生産力の維持を図ることにより、豊かな農産物を安定的に供給するため、農業生産基盤の保全・整備を実施している。
- 快適な農山村の暮らしの実現のため、農地防災対策や交通インフラ整備を実施している。

基盤整備により大胆な低コスト化が図られた農地面積	1,993ha
適切な管理水準を保つことにより農業用水の安定供給が図られた農地面積	23,663ha
自然災害への対策等により安全性を確保した農地面積	20,513ha

【基盤整備により大胆な低コスト化が図られた農地面積】

産地の機能性向上や水田の大区画化・汎用化を図る7地域(沼津市西浦、御殿場市・小山町、静岡市清水区、牧之原市、富士宮市、中遠地域、浜名湖北部地域)の基盤整備面積と生産力の強化を図る基盤整備面積(中山間総合整備事業、集落基盤整備事業)の合計

【適切な管理水準を保つことにより農業用水の安定供給が図られた農地面積】

国または県が水利権を有する基幹的な農業水利施設を対象に、施設の長寿命化対策と更新整備により安定供給が図られた農地面積

【自然災害への対策等により安全性を確保した農地面積】

豪雨対策及び土地改良施設の耐震対策等が図られた農地面積

出典：静岡県農地計画課調べ